

Title	ヘリウム液化装置更新について(豊中分室から)
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 118 P.22-P.22
Issue Date	2002-03
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/3496
DOI	
rights	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

ヘリウム液化装置更新について（豊中分室から）

平成4年にヘリウム液化装置が更新されて以来、豊中キャンパスにおける液体ヘリウムの年間使用量は年毎に約1万リットルずつ増加し続け、平成12年にはついに10万リットルを越えました。液化装置の稼働時間を延長するなどして需要に対処してきましたが、現有の設備では供給限界に至っており、また液化装置自体も老朽化が進んできたため、かねてから概算要求にてヘリウム液化装置の大型機への更新を要求してきました。

幸いなことに、平成13年度第二次補正予算にて更新が認められました。将来のさらなる増加も考慮し、設置予定の液化装置は200リットル／時以上の液化能力を有するものに更新予定です。設備のほとんどを更新し、また液化装置に付随する周辺設備も非常に大型化するため、設置スペースの確保、床強度の強化などの施設工事が予定されています。現有設備の撤去、施設工事、新規液化装置の設置は平成14年度中に行われます。現在入札のための作業を進めており、落札業者は3月末に決定される予定です。入札前ですのでここでは詳細は述べられませんが、業者が決まり工事計画などが具体化しましたら改めてご連絡いたします。

寒剤（液体ヘリウム、液体窒素）供給の停止期間はできるだけ短くなるように計画を立てる予定ですが、寒剤利用者のみなさまには少なからずご不自由をおかけすることが考えられます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、この場をお借りしてヘリウム液化装置更新にご尽力いただいた方々にあつく御礼申し上げます。

今後とも低温センター運営にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。